

| | | | | |
|----------------|---|---|-----|-----|
| 1年3組 | 指導者 | 〇〇〇〇 | 教科等 | 美術科 |
| 題材名等 | 花の命が感じて～生命感から主題を生み出し表現しよう～ | | | |
| 題材の 評価規準 | 知識・技能 | <p>◆知形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや生命感などを全体のイメージで捉えることを理解している。 【〔共通事項〕（1）ア・イ】</p> <p>技水彩絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 【〔A表現〕（2）ア（ア）】</p> | | |
| | 思考・判断・表現 | <p>発花を見つめ感じ取った花や葉の形や色彩の特徴や美しさ、生命感などを基に主題を生み出し、画面全体と花や葉との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 【〔A表現〕（1）ア（ア）】</p> <p>鑑造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 【〔B鑑賞〕（1）ア（ア）】</p> | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | <p>態表美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく花の美しさや生命感などを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>態鑑美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えたり、見方や感じ方を広げたりする鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【学びに向かう力・人間性等】</p> | | |
| 題材の学習展開 | | | | |
| 導入 | <input type="checkbox"/> 発想や構想（3時間） ・作者の心情や意図に応じた多様な表現について考える ・主題を生み出す ・主題を基に構想を練る | | | |
| 展開 | <input type="checkbox"/> 制作（3時間） ・水彩絵の具の表し方を身に付ける ・発想や構想を基に、自分の意図に合う表現方法を工夫して表す | | | |
| 終末 | <input type="checkbox"/> 鑑賞（1時間） ・生徒作品や美術作品から他者の心情や表現の意図と工夫について考え、見方や感じ方を広げる | | | |

| | | | |
|----------------|----------------------|---|--|
| 本時 (3/全7時間) | ねらい | 線の感じや色の感じ、光の当たり具合、様々な花が持つ造形的な特徴などから感じられる美しさや生命感について、花を置く場所や背景を変えたり、様々な角度や距離から観察したりする活動を通して、画面全体のイメージで捉えることを理解できるようにする。 （下線部・・・評価規準【◆知識・技能 知 ワークシートの内容】） | |
| | 学習過程 | <p>「めあて」や『課題』の確認 「主題を基に花をスケッチし、構想を練ろう」 『主題を表現するためには、どのようなことに気をつければよいだろうか』等</p> <p>本時で学んだことの『まとめ』や「振り返り」 『花や葉の関係を考え構図をくふうすることで、自分が表現したいことに近づけることができる』等 「花や葉の形や色彩、全体のイメージなどから作品の構想を考えた」</p> | |
| | 努力を要する状況の児童生徒に対する手立て | 【予想されるつまずき】 細部の形に注視しすぎており、消しては描きを繰り返している | 【必要な支援・手立て】 ・紙面に花を描いていくときに、花の背景や書き込むものを具体的にイメージさせる ・角度や距離、場所を変えて、花が見せる表情の違いを経験させる |